



伊豆市議会だより

No.51

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集:議会広報委員会

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906 **2017.2.1発行**



目次

- 修善寺東小4年生 社会科見学 … 表紙
- 12月定例会の概要 …………… 3
- 一般質問 …………… 7
- 議員間討議 …………… 11
- 会派紹介・3月定例会の予定等 … 12



新年明けましておめでとうございます。

日頃より、伊豆市議会に対しましてご理解、ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

昨年は、10月に市議会議員選挙が行われ、議員定数が16人に対し、新人議員7人の当選により、伊豆市議会に新しい風が吹き込みました。その結果は、傍聴者の増加をはじめ、第4回定

例会での、一般会計補正予算修正案可決の他、条例2議案の否決に現れました。これは、二元代表制の一翼を担う議会議員としての意思の表れでもあります。

さて、西年の今年、どんな年になるのでしょうか。西年には5種類があり、今年が丁酉（ひのと）とり、ていゆう）にあたり、陰陽五行説では、相克の関係になります。また、九星気学では、一白水星が支配する年となり、解釈については各人にお任せ致しますが、私は、波乱万丈、産みの苦しみを経て、未来への希望や幸せが垣間見えると解釈致しました。

昨年は、「議会基本条例」を中心に置き、議会活動を推進し、「政務活動費」の活用による調査研究などの活動を行いました。

また、議会活動の説明責任を果たすとともに多様な意見聴取を図るため、議会報告会を4回開催しました。

今年、多様な外部環境の変化や伊豆市の課題に議会として対処すべく「議会基本条例」を市民目線のより良い方向に発展できるように「議会改革推進特別委員会」を設置し、市民のみならず、さまの期待に応え、地方自治の本旨に基づいて、市民の福祉の増進を図り、伊豆市の健全な発展に寄与するため、全力を尽くして参ります。

今後とも、市民の皆様と共に歩み、市民のための議会であり続けるようご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

12月定例会で設置されました

『伊豆市議会』

『議会改革推進特別委員会』

新体制のもと、平成28年4月1日より施行した「伊豆市議会基本条例」を念頭に置き、議会の役割である行政を監視することはもちろん、議員一人ひとりが市民の代表であるとの自覚に立って、市民の皆様の声を聞き、市民と共に豊かなまちづくりを進めていくことが大変重要であり、常に「伊豆市民のための議会」であるため「伊豆市議会 議会改革推進特別委員会」の設置について可決しました。

【目的】

「開かれた議会」・「市民参加の議会」・「議員各自の研鑽を図る議会」・「政策討論のできる議会」・「常に議会改革を推進する議会」であるための改革及び対策に関する調査研究を行う。

【委員】

- 委員長 小長谷 順二
- 副委員長 杉山 武司
- 委員 山口 繁
- 委員 岡野 みどり
- 委員 鈴木 正人
- 委員 杉山 誠

平成28年12月定例会

平成28年12月定例会を、11月28日から12月19日までの22日間の会期で開催しました。補正予算6件、条例関係12件、人事案件15件、その他7件が提案され、補正予算1件と条例2件を除き、原案のとおり可決・同意しました。

なお、最終日に議員9人より平成28年度一般会計補正予算(第5回)の「修正動議」が提出され、可決しました。原案については、修正可決しました。

また、議員発議の「伊豆市議会 議会改革推進特別委員会の設置について」を可決しました。

平成28年度補正予算

◆一般会計補正予算(第5回)

人事院勧告などに伴う職員給与費4千531万円、天城湯ヶ島支所移転に伴う旧湯ヶ島幼稚園等改修工事6千800万円、国の補正予算に伴う臨時福祉給付金給付事業1億685万円、台風による農地、農業施設の災害復旧事業2千240万円など、総額3億2千598万円を増額し、歳入・歳出予算額を176億7千610万円とするもの。

◆一般会計補正予算(第5回)(修正)

一般会計補正予算(第5回)の内、天城湯ヶ島支所移転に伴う旧湯ヶ島幼稚園等改修工事6千800万円を減額修正するもの。

一般会計の総額は、**176億810万円**になりました。

条例の制定

◆副市長定数条例の一部改正

副市長の定数を「1人」から「2人以内」に改めるもの。

◆支所設置条例及び伊豆市保健福祉センター条例の一部改正

天城湯ヶ島支所と天城保健福祉センターの位置を「伊豆市湯ヶ島161番地の1」とするもの。

◆都市計画法施行条例の制定

◆特定用途制限地域に関する条例の制定

◆水害に備えた土地利用条例の制定

田方広域都市計画区域から伊豆都市計画区域に分割し、区域区分(線引き)を廃止することに伴い、開発行為の適切な規模を定めるもの。

・用途白地地域(現市街化調整区域)における建築物の用途の制限等を定めるもの。

・狩野川浸水想定区域の開発行為等における周辺住民への周知や建築における避難空間確保等の対策を促すもの。

人事

◆監査委員の選任

議員から選任する監査委員について、すぎやま まこと 杉山 誠氏を選任することに同意しました。

その他

◆公の施設の指定管理者の指定について(湯の国会館)

指定期間が平成28年3月31日を以って満了するため、株式会社サンアメニティを指定するもの。

◆公の施設の指定管理者の指定について(修善寺温泉駐車場)

指定期間が平成28年3月31日を以って満了するため、一般社団法人伊豆市観光協会を指定するもの。

◆公の施設の指定管理者の指定について(狩野ドーム・狩野グラウンド)

指定期間が平成28年3月31日を以って満了するため、特定非営利活動法人伊豆市体育協会を指定するもの。

議案

チェック

委員会の議案審査で、
次のような質疑がありました

第1委員会

◆一般会計補正予算(第5回)

問 旧湯ヶ島幼稚園改修工事の詳しい内容は。

答 旧湯ヶ島幼稚園の職員室を支所に、子供用トイレを大人用に、保育室を会議室にするための内装改修工事で5千万円を見積もっています。プール解体整備工事1千800万円は、跡地に30台分の駐車場を予定しています。工事時期と移転までのスケジュールは、平成29年の夏までに幼稚園の改修工事を終え、保健センター機能を秋を目途に先に移転、最終的に平成30年の4月に支所機能の移転を完了したい計画です。

問 支所と保健センターの移転は、東京ラスクの工場拡張の要望と関連するが、経営計画や構想が

書面で提出されているか。

答 工場見学やお菓子づくり体験の拡大、地産地消のレストランなどの話は伺っています。現在検討中とされる企画提案が決定次第、提出を求めています。

◆支所設置条例の一部改正

問 支所の移転にともない市民が不便をこうむることをどう思っているのか。

答 市としては将来にわたって住民サービスを維持していくことも重要に考えております。その中で今回、誘致をした企業が事業を拡大して雇用を増やす計画で、地域の家計にも好循環となり、総合的に勘案しての提案になっていきます。今後、コンビニで住民票などが取れるようにすること、交通の便の改善についても検討していきます。

◆萬城の滝キャンプ場条例の一部改正

問 市直営になった場合、冬場の閑散期の対策や人員配置をどう考えているか、地元との関わりをどうしていくのか。

答 市が直営する3年間に地元の観光協会、商工会、萬城の滝周辺整備協働の会などと協議しながら地域の拠点として運営実施体制を整え、その後は地元の方が優先で公募の上、運営していただくことが一番いいと思っています。また、来年度の職員は3名から4名の体制になると思います。

◆都市計画法施行条例の制定

問 今後固定資産税はどうなるのか。

答 今回は、修善寺地区だけの見直しで、市街化区域内の農地の固定資産税が低くなるという試算が税務課から出ています。

第2委員会

◆一般会計補正予算(第5回)

問 健康づくり推進事業費40万円の内容は。

答 伊豆ペロドロームウォーキングに係る開催費用で、チラシとポスターの印刷費や減塩味噌汁の試食に係る材料費等です。

問 野菜の高騰による学校給食費

の増額ということだが、今後の給食費の見直しは考えているのか。

答 今回は、臨時的な措置として一般会計から支出しますが、引き続きこういった状況が続くようであれば、保護者に対し負担を求めるところも考えていく必要があると考えます。

◆伊豆市保健福祉センター条例の一部改正

問 天城保健福祉センターの利用状況が移転先で対応できるか。また、定期的に利用している団体に対して説明をしているのか。

答 平成27年度は、多目的利用室211件、保健教室と調理室が120件程の利用がありました。1番使われている定員120人の多目的利用室の代替は旧湯ヶ島幼稚園の遊戯室を考えています。定員は、75人に減りますが、入りきれない場合は、隣接している旧湯ヶ島小学校体育館を利用していただきたいと考えています。
なお、定期的に利用している団体の方には、今後しっかり説明をしていきます。

討 論

◆一般会計補正予算(第5回)

原案賛成

(小長谷 順二)

この事業は合併特例債を活用し、市山地区は東京ラスクを中心
に観光商業地区、宿地区は湯ヶ島
幼稚園を支所に整備し、湯ヶ島小
学校の改修や営林署跡地の公園整
備など、湯ヶ島地域全体のにぎわ
いを創出するものであると思っ
ている。

修正案賛成

(杉山 武司)

東京ラスク社の事業計画に異論
はなく、むしろ期待をしています。
市の説明不足で、市民の十分な理
解を得ないままでの計画遂行は時
期尚早です。また計画している移
転先には利便性と安全面に問題が
多く、別の移転先を検討すべきで
す。

原案賛成

(杉山 誠)

支所等の移転に異論が出ている
事実はあるが、企業の発展は雇用
の確保や税収増、地域のにぎわい
創出など計り知れない効果が見込
める。市の将来を考え、原案を通

すことが賢明な判断と思う。

修正案賛成

(森 良雄)

総額176億7千610万円の
予算の中のほんの一部を削除した
いというものです。東京ラスクの
設備拡張のために天城湯ヶ島支所
を移転させる準備の予算、工事費
6千800万円を削除する本修正
案に賛成します。

修正案賛成

(西島 信也)

一企業を拡大させるため、現在
有効に運営され、市民の利便性も
高い天城湯ヶ島支所を、わざわざ
3億円もの市費をかけ、不便な場
所へ移転させなければならぬの
か。大多数の市民の意見を無視し
た支所移転にかかる予算を削除し
た本修正案に賛成します。



▲天城支所及び天城保健福祉センター

修正案賛成

(木村 建二)

市民は、天城湯ヶ島支所の移
転を前提とした補正予算は説明
不足の上、移転してほしいとは
望んでいません。望んでいない
6千800万円の費用削除の修正
予算に賛成します。

◆副市長定数条例の一部改正

反対

(西島 信也)

人口、予算規模とも伊豆市より
はるかに大きい伊豆の国市・熱海
市・三島市などいずれも副市長は、
1人であります。財政難で経費節
減をしているはずなのに、副市長
を2人にする必要性は全くなく、
市民の理解は到底得られません。

賛成

(波多野 靖明)

伊豆地区全ての共通の問題は道
路網の整備で、人が集まり移動す
るには交通手段が必要です。未だ
経験したことのないビッグイベン
トに対応し、伊豆地区全体の評価
を高めるためにも副市長2人制が
伊豆地区発展の契機となること
を期待します。

反対

(山口 繁)

副市長の置き方、配置の仕方は、
市長の市政運営のいわば経営観の
問題である。副市長を増員しても

最終責任は市長が負わなければな
らない。強いリーダーシップでス
ピード感のある決定を旨としてき
た市長のスタイルに逆行するの
ではないか。

賛成

(青木 靖)

現在伊豆市では、都市計画の見
直し、学校再編成、少子高齢化対
策、地域医療の確保など重要な事
業を同時並行で取組んでいる。今
後オリンピックの地元負担などを
めぐり、東京都、国、県と難しい
交渉が必要で、副市長2人制は妥
当である。

反対

(森 良雄)

市長は都市計画だ、伊豆縦貫道
だ、オリンピックだと言っている
ですが、そんなに仕事量が多いとは思
えません。外ばかり向いていな
いで、市民のための内政に重点を
置いた政策を進めてください。

反対

(木村 建二)

市長は、今年4月議会で、現副
市長は①オリンピックを控え、県と
の連携を強めていくため②行政全体
を理解し、県と国を動かせることと推
薦しました。同じ理由でもう1人で
すか。別の道。必要に応じ、県の力
や業者委託。職員を育てませんか。

平成28年第4回（12月）定例会で審議した議案

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	波多野 靖明	山口 繁	星谷 和馬	間野 みどり	鈴木 正人	下山 祥二	杉山 武司	青木 靖	永岡 康司	小長谷 順二	小長谷 朗夫	西島 信也	杉山 誠	森 良雄	木村 建一
予算																
平成28年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）（修正案）	可決	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○
平成28年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例																
伊豆市職員の派遣に伴う地域手当の支給に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市副市長定数条例の一部改正について	否決	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	×
伊豆市支所設置条例及び伊豆市保健福祉センター条例の一部改正について	否決	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	×
人事																
伊豆市農業委員会委員の任命について 他13件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
その他																
公の施設の指定管理者の指定について（湯の国会館）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
公の施設の指定管理者の指定について（修善寺温泉駐車場）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
公の施設の指定管理者の指定について（狩野ドーム・狩野グラウンド）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
工事請負契約の締結について（土肥小中一貫校建設工事2期）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※1 ○賛成 ×反対

※2 議長（三田忠男）は、可否同数の採決以外は、採決に加わりません。

■全会一致で可決した議案等

平成28年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）	伊豆市都市計画法施行条例の制定について
平成28年度伊豆市介護保険特別会計補正予算（第2回）	伊豆市特定用途制限地域に関する条例の制定について
平成28年度伊豆市下水道事業特別会計補正予算（第2回）	伊豆市水害に備えた土地利用条例の制定について
平成28年度伊豆市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1回）	伊豆市税条例の一部改正について
平成28年度伊豆市水道事業会計補正予算（第1回）	伊豆市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び伊豆市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について
伊豆市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について
伊豆市職員等の旅費に関する条例の一部改正について	伊豆市農業委員会の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について
伊豆市萬城の滝キャンプ場条例の一部改正について	伊豆市議会議会改革推進特別委員会設置に関する決議について
伊豆市修善寺温泉駐車場条例の一部改正について	

■撤回された議案

公の施設の指定管理者の指定について（狩野川記念公園）

市政を問う

～一般質問～

12人の議員により35件の質問がありました。そのうち、それぞれ1件についてお知らせします。(要約・質問順)

質問

文教ガーデンシティの 整合性を問う



(鈴木 正人)

① 本構想の住宅用地部分の病院移転用地への計画内容の変更について、伊豆市の最上位計画である「第2次伊豆市総合計画」との整合性はありますか。

② 整合性が証明できない場合、この構想は「白紙撤回」すべきと考えますが、いかがですか。

市長 市答

伊豆市の10年後・20年後 のありたい姿のために

① 中伊豆温泉病院が移転するのであれば「伊豆市内に残ってほしい」と言う方がほとんどです。そうすると文教ガーデンシティ構想・計画を変えなければなりません。温泉病院の移転が総合計画の一部、その骨格を変える程の影響なのか、変えなくても良いのかという、市民の判断を伺っているわけです。

② 計画というのは手順、道順で、そのとおりやるのが目的ではありません。本質は、中伊豆温泉病院が移転するという事業に対して、伊豆市がどう臨むかということです。計画を変更するかどうかは、今まさに検討している現状です。

質問

市内小中学校のトイレ 洋式化の現状と拡充



(小長谷 朗夫)

① 昨年の12月定例会において、市内小中学校のトイレ洋式化率について伺いました。平成26年12月現在の現状の答弁がありました。その後2年を経過して、現在の洋式化率の拡充について伺います。

② 二つ目に土肥小学校を始め、統合された3小学校と修善寺地区4小学校との普及率の比較について伺います。

市長 市答

和式トイレとのバランスを考慮し、進めます

市内4中学校の大便器数は、173個、内43個が洋式トイレです。洋式化率は25.3%で、前回より6.7%増加しました。

市内7小学校の大便器数は、282個、内154個が洋式トイレです。洋式化率は54.6%です。

② 学校再編した3小学校は洋式化率が進み土肥小は89.2%、天城小は83.3%、中伊豆小は77.1%となっています。

③ 修善寺地区の修善寺小は36.7%、熊坂小は34.8%、修善寺東小は43.6%、修善寺南小は44.2%です。

質問

一貫性のない「文教ガーデン事業は」中止を



(木村 建一)

①分譲地を病院に変えようとしています。文教ガーデンシティ構想における基本コンセプトの1つである子育て世帯の住宅地整備はどうするのですか。

②中伊豆の上地区の住民にとって、何を地域振興拠点とよび、それをどこにしたいと考えていますか。中伊豆地区の医療体制はどうするのですか。

長弁 地域や子育て世代に 市答 対応する施策の検討

①中伊豆温泉病院は、耐震性の関係から早急に伊豆箱根鉄道の駅近くに建替えを検討したいため、文教ガーデンシティ構想の住宅地部分を候補移転先とすることで協議に入る合意をしました。仮に、住宅地が病院建設地となった場合には、新たな状況の変化を踏まえた上で、総合的に子育て世代に対応する施策を検討したいと考えています。

②中伊豆地区の拠点は金融機関や商業施設などが集まる八幡地区だと考えています。仮に、中伊豆温泉病院が移転した場合には、送迎の車や在宅への訪問看護を引き続き行っているだけで聞いています。

質問

中学校の建設は市民の合意を得てから



(森 良雄)

文教ガーデンシティに造ろうとしている中学校の建設は市民の合意を得ていません。

新しい中学校の建設は見合わせるべきではありませんか。ここに建設しようとしている中学校は校舎の前にグラウンドがありません。どうしてこのような学校を造るのですか。いじめや不審者の侵入が見えませんか。

長弁 さらに理解や協力が 市答 頂けるよう努めます

学校再編計画や建設計画を進めるにあたって、情報発信や市民・保護者への説明会を開催し、御理解をいただくよう努めてまいります。

公園や河岸と一体になった自然の中で地域に根ざし、豊かな心と個性を伸ばす中学校を基本理念としております。施設整備の工夫や防犯カメラの設置などのハード面での検討をしていきます。

質問

天城湯ヶ島支所移転の
説明会の真意を問う



(杉山 武司)

天城湯ヶ島支所機能の移転について、住民の多くは正確な情報を知りません。

説明会で多くの意見を聴いたはずですが、今後も継続して開催すると明言している説明会にその意見を生かすとともに、湯ヶ島小学校区以外にも説明会を拡大し、若者や女性と高齢者の意見を聴く考えがあるか伺います。

長弁 皆さまの意見を多く 市答 広く承っていきます

現在、旧湯ヶ島小学校及び旧湯ヶ島幼稚園の改修工事の実施設計を行っております。この設計案ができた段階で地元の皆さんには説明会を開催したいと考えています。

今後の支所機能の移転の説明会は、湯ヶ島小学校区以外にも広げてまいります。説明会は区単位でも開催し、若者や女性、高齢者等、世代を超えた意見交換を続けてまいります。

質問

光ファイバ網整備完了に伴うICT活用施策



(小長谷 順二)

光ファイバ網整備の目的は、市内外の地域情報格差の是

正、将来を見据えた発展の為の情報基盤の整備、産業の活性化、防災・教育・医療の高度情報化への対応、そして快適な市民生活などが挙げられます。ICTを活用した企業誘致、空き家対策、公衆無線LAN(Wi-Fi)スポットの今後の整備について伺います。

市長弁
市答

行政に、教育にICTの活用を推進します

光ファイバ網については、合併特例債を使い今年で整備が終わります。

雇用・企業誘致・空き家対策そして観光など、すべてに公衆無線LAN(Wi-Fi)や電子決済の時代です。そのため光ファイバの必要性は大きく、加入率向上に取り組みます。

市長弁
教育答

多様なICT活用の取り組みが始まっています。土肥の義務教育学校でも魅力ある授業づくりの一環として、環境整備と教員研修に取り組んでいます。

また現在、計画している新中学校でも推進する計画です。

質問

修善寺地区の小学校統合に反対！



(山口 繁)

第二次学校再編計画の最終版には、修善寺地区の小学校統合が予定されていますが、小

学校をなくすと過疎地をさらに過疎地化させます。既存の小学校区を基軸としたまちづくりが提言されており、それとの整合性を図りながら修善寺地区の各小学校を残していただきたいという強い思いを表明し、改めて小学校再編について説明願いたい。

市長弁
教育答

これまでの再編を検証し課題を整理する

修善寺地区の小学校再編については、中学校再編の2年後の平成34年を目途としています。

しかしながら、小学校の存続を強く求めるご意見も伺っていますので、これまで実施してきた小学校再編の検証を行い、課題を整理していきたいと考えています。

修善寺地区の小学校の子どもたちにとって、よりよい教育環境のあるべき姿について地域や保護者からもご意見を伺いながら、再編を進めていきたいと考えています。

質問

こども園、保育園の運営の課題と今後の方針



(青木 靖)

①伊豆市のこども園、保育園の運営状況をどのようにとらえ、課題にどのように取り組んでいますか。

②文教ガーデンシティ内に予定されている新こども園の構想はどのような内容ですか。

市長弁
市答

課題を整理しながら再編を進めています

①こども園・保育園では、保育士確保と3歳児未満の乳幼児保育希望者の増加が課題であり、広報による求人のほか、大学等にも案内を出すなどして保育士確保に努めています。また、昨年度は熊坂こども園の改修によって乳幼児の定員を増員して対応しています。

②公設公営で運営し、通常保育以外に休日保育の実施、発達障害などにより支援が必要な児童が利用できる通所施設の併設、伊豆市全体の療育支援の拠点としたいと考えています。

質問

文教ガーデンシティの今後



(西島 信也)

①住宅予定地を中伊豆温泉病院移転用地として検討するという話だが、その経緯について説明を求めます。

②新中学校建設事業費は、50億円としているが、その支出の内訳及び財源は、どうなっているか。

③農地転用、用地取得、開発許可申請は、いつ頃までに行うのか。

市長
市答

文教ガーデンシティは道半ばです

①中伊豆温泉病院の建て替えは、厚生連側から、もし市内に維持するのであれば、伊豆箱根鉄道の駅近くで、市の土地か又は確保できる2haの土地を提案してほしいというお話でした。

②来年度に転用手続き、用地取得はその後となり平成29年度半ばを目標としています。

市長
教育
教答

②用地取得に9億円、基本設計、実施設計等に4億円、造成・建築工事等に37億円となります。財源は文科省の補助金・合併特例債・市の負担金を当てます。

質問

自転車利用の普及と安全対策をどう進めますか



(杉山 誠)

自転車は、買い物や通勤・通学、サイクリングなど多くの人々に利用されており、近年は健康増進や環境保全意識の高まり、さらには災害時における移動手段としても期待されています。

2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技会場となる当市において、自転車利用と安全対策をどう進めますか。

市長
市答

「自転車まちづくり計画」に期待

学識経験者や関係団体の方々を中心に自転車まちづくり計画を策定しています。

まず健康面から利用を促す取り組みを考えています。自転車専用道路を整備することは難しいが、安全に自転車に乗るための路側の草刈りや砂利掃き等、できる安全対策を進めること。また、自転車保険は今後の課題です。

市長
教育
教答

新中学校への自転車通学については、交通安全機関等が実施する自転車安全教室の受講による運転技術や交通ルールの遵守を確認した上で対応していきます。

質問

負担が市民に直結するゴミ処理問題



(波多野 靖明)

新ゴミ処理施設の建設計画が進んでいます。設計画が以下の事について質問致します。

①ゴミ処理方式の選定方法 ②伊豆市が人口約3万2千人、伊豆の国市が4万9千人の建設費用負担割合 ③残渣処理と設備保証 ④建設後の石油使用料とランニングコスト ⑤地元住民との合意はとれているか伺います。

市長
環境
市民
部答

焼却方法は未定 19日の全協で説明の予定

ゴミ処理施設は伊豆市と伊豆の国市共同で組合を設置し、検討委員会で検討しています。その後、管理者へ報告、パブリックコメント、市民説明会を経て、最終決定する予定です。焼却方法は12月13日に検討委員会を開き焼却方式、計画案を決定します。

計画案については議会終了後に全協で説明します。また、検討委員会の内容はホームページでも公表しています。費用負担割合は均等割り50%とゴミの見込み量50%です。

質問

浜の活性化「海の森」
づくり事業の推進を！



(永岡 康司)

昔のような豊かな海を取り戻すため（鉄鋼スラグを利用した海の森計画）を取り入れ、八木沢・小下田地域の海藻類や魚介類等、漁場再生に向けた取り組み（実験）を行い、漁場として生活ができるような環境を整えたいと思いますが、市長の考えを伺います。

市長
市答

水産業の競争力強化

緊急事業を検討中

伊豆市他1市5町の行政と漁協、オプザーバーの静岡県水産技術研究所で伊豆地域水産業再生委員会を設置し、平成27年から31年度までの「浜の活力再生プラン」を作成しました。

今年に入り伊豆地区地域水産業再生委員会を母体とし、新たに県を加え伊豆地区広域水産業再生委員会が設立、水産業の競争力強化緊急事業を検討し、最終年にはてん草増産、収入の10%向上を目指しています。漁場再生については着実に進めます。

議員問討議

第2委員会では、「伊豆市保健福祉センター条例の一部改正」について、議員問討議を行いました。

西島 天城保健福祉センターをなぜ一企業のために旧湯ヶ島幼稚園へ移転しなければならないのか。企業の金儲けのために伊豆市がお膳立てをしなければならないのか。

杉山誠 地域の衰退、人口減少、若者流失などの第一要因は働く場がないことである。また公共施設を集約化して二カ所で用が足りるようにする取り組みも必要である。何よりも企業誘致は最優先課題である。

波多野 旧湯ヶ島小学校・旧湯ヶ島幼稚園を使わなのままにしておけば、管理費・維持費がかかる。東京ラスクが地元の人たちの雇用を生み、そのことが所得向上に繋がり、経済効果がある。

間野 東京ラスクの郷土への思いをなぜ大切にしたのか。雇用にも繋がっている。旧湯ヶ島幼稚園の2階は、ダンスもできるようなすばらしい施設である。その周辺も生涯学習に繋がるような環境である。今も大切だが、10年後、20年後の子どもたちが育つた後の伊豆市のことを考えてもらいたい。

山口 東京ラスク社のこれまでの成果は認め、評価している。今回の工場拡張の事業計画と旧湯ヶ島小学校二帯を賑わいの拠点にする計画を示してもらいたい。

たい。11月に説明会、12月議会に提案と、スピード感があつて良いが、内容が伴わなければ意味がない。時期が早いのではないか。

小長谷朗 東京ラスクとのやり取りが灰色である。概ね了解を得たではダメである。社会教育の観点で考えると、利便性が一番優先される。今の位置にあつた方が、天城地区の住民のためだと思う。

木村 公共施設は市民の物であり、市民を忘れては困る。支所機能はコンビニでもできる、支所が移動すると言うが、支所はどこだつていいという感覚になつている。

杉山誠 物事には時がある。今ある思いを実現してもらいたいという地元の意向が伝わる形にしたい。将来に対する責任がある。

小長谷朗 今まで説明された内容が、経営者の思いを大切にすることがゆえに、市民の思いをないがしろにしていると判断できる。

杉山誠 担保のないものに事業計画は立てられないが、話し合いの記録くらいは示してほしい。

三田 企業にお金を儲けてもらった結果、伊豆市に税金があり、雇用が増える。議会としての意思は雇用を大事にするということではないのか。支所の移転場所にはこだわらないが、結果、ラスクが撤退してしまうことが「財政面」・「雇用」・「これから来たいと思う企業」にマイナスに働くことは避けるべきである。

木村 支所が湯ヶ島幼稚園に移った時のお年寄りの足の確保についても「緒に提案すべきである」。

会派紹介

会派とは、市議会において政策、目的等と同じくし、調査研究、政策立案等を行うため、議員2人以上が所属して議長に届け出た団体です。

【市民第一クラブ】

代表 永岡 康司
 会計 小長谷朗夫

【I-ZU 未来】

代表 青木 靖
 会計 小長谷順二

三田 忠男
 杉山 誠
 波多野靖明
 間野みどり
 下山 祥二

【伊豆市民ネットワーク】

代表 西島 信也
 会計 鈴木 正人

平成28年 第2回臨時会

11月1日、平成28年第2回臨時会を開催し市長から2件の専決処分の報告がありました。

報告

◆専決処分の報告（交通事故に伴う損害賠償額の決定）

職員の公務中の交通事故に伴う損害賠償の額103万2千13円が決定したので報告するもの。

◆専決処分の報告（施設管理事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）

市道走行中、山林斜面から落下したと思われる石が原因でタイヤとホイールが破損するという施設管理事故にかかると、和解及び損害賠償の額4万9千702円が決定したので報告するもの。

議会傍聴・視聴について

本会議及び委員会はどなたでも傍聴することができます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

（議会事務局0558-72-9906）

3月定例会の予定

場所 本庁2階 議場
 時間 午前9時30分～
 2月22日（水） 施政方針
 議案上程
 3月1日（水） 議案質疑
 9日（木） 一般質問
 10日（金） 一般質問
 23日（木） 委員長報告・
 質疑・討論・採決

※変更となる場合がありますのでご了承ください。

3月定例会 委員会の予定

場所 本庁2階 委員会室
 時間 午前9時30分～
 3月2日（木） 第1委員会
 3日（金） 第2委員会
 6日（月） 第1委員会
 7日（火） 第2委員会

編集後記

2016年10月の市議会議員選挙で16人の議員が誕生しました。伊豆市議会も何か変化を感じます。まずは私も市議会議員になり初めての長と言う役職を得ました。議会広報委員会の委員長です。

議会は変わります。この議会では第一委員会が3本の議案が否決されました。本会議ではそれぞれ否決されるとともに補正予算の修正が求められました。伊豆市議会の新たな波を感じます。

議会広報委員長 森 良雄